

メニュー

[この塾について](#)[理事長の挨拶](#)[お問い合わせ](#)[全体プログラム](#)[平成27年度 講座](#)[ロボットクラブ](#)[発明クラブ](#)[映画ビデオクラブ](#)[英語でアートクラブ](#)[ディベートクラブ](#)[まんがクラブ](#)[おもしろサイエンスクラブ](#)[過去の年度講座](#)[指導員・サポーターの募集](#)[未来塾新聞EURIKA](#)

サイト内検索

検索

[たかはま夢・未来塾](#) > [討論・ディベートクラブ](#)

討論・ディベートクラブ

第8回 討論。ディベートクラブ講座

討論・ディベートクラブ 第8回目の講座が、
12月18日(土)に開かれました。

まずはいつものようにウォーミングアップです。

「冬休みに楽しみなこと」のスピーチをしました。

話し方は前回のナンバーリングの技法の復習で3点に分けます。



今回の講座は
発想力を鍛える練習ということで
いろんな方法を使い、取り組みました。

(1) 連想ゲーム

先生の言うヒントをもとに早く言葉を当てると
いうゲームをしました。

(2) 物語構成法

言葉の書いてない吹き出しのある絵をもとに
どんなことを話しているのか、どんな状況なのかを読み取っていきます。



(3) 作文法

「もしも魔法が使えたなら」

ワークシートに

- ・どんな道具を使うか
- ・どんな呪文か
- ・何ができるのか

を書き込み、その情報をもとに短い作文を書きました。

「空を飛びたい」と書く人が多かったです。

(4) 説得ゲーム

まず、子ども役と親役に分かれます。

子どもが親に理由をつけて欲しいものを買ってもらおうというゲームです。

- ・子どもはなぜ買いたいか理由を言って親を説得します。
- ・親はダメと言い、なぜダメなのか理由を言います。

時間は3分間です。



親役の人にはダメという理由を考えるのに苦労していました。

(なぜダメなのかの理由が常にきちんと言える大人でありたいと個人的に考えさせられるゲームでした…。)

まとめとして

ミニディベートマッチを行いました。

論題をみんなで考え

「日本は小中学校の宿題を禁止すべきである」に決めました。

リンクマップ作り→賛成側と反対側にじゃんけんでチーム分け→立論作り→試合

※賛成側と反対側をじゃんけんで決めるのは
どちら側の意見も常に考えられるように訓練するためだそうです。

各パート1分ごとの簡単なスタイルのディベートをしました。



立論は

メリット「ストレスがたまらない」VS デメリット「学力が低下する」

で試合開始です。

講座の始めのころは

立論に対する質問や反論に何を言ったらいいのかわかっていませんでしたが

持ち時間をうまく使って話ができるようになりましたね。

みんなすごいです。

ちなみにディベートとして勝ったのは賛成側でした。

ジャッジが出た後に、本当にそうだったら日本が心配だという意見もあり子どもたちもいろいろ考えているんですね。

第7回 討論・ディベートクラブ講座

討論・ディベートクラブ 第7回目の講座が、11月27日(土)に開かれました。

まずはいつものようにウォーミングアップです。

エンカウンターゲームで話す力、聞く力を高めていきます。

(1)ぐるぐる？

8つのぐるぐると殴り書きした線を書きます。



それがどんなものにみえるのかを考え8つ全部を使ってストーリーを作りました。



それぞれおもしろいストーリーが出来あがり、聞く方も楽しかったです。

(2)どっちを選ぶ？

あるものとあるもので

どちらが良いかの根拠を競うゲームをしました。

お題の発表→1分間の作戦タイム→2分間のスピーチタイム



根拠(なぜ良いのかという理由)は

「一つめは?、二つめは?」というように2点に分けて話します。

※これはナンバーリングという技法だと学びました。

- ・第1ラウンド 「ナップサック」VS「手提げかばん」
「ナップサック」の勝利
理由・・・たくさんのもが入る、背負ったまま遊べるから便利など
- ・第2ラウンド 「鉛筆」VS「シャープペンシル」
「鉛筆」の勝利
理由・・・持ちやすく、小さい子にも筆圧が加減できるなど
- ・第3ラウンド 「男」VS「女」
「女」の勝利
理由・・・単純ではないのでだまされない、ファッションセンスが良いなど



次はディベートのまとめとして

- ・資料を使うこと
- ・話し方のワークシートを使って話すこと

以上のことをめあてにしながらディベートをしました。

資料を使うことで

具体的な数字などがはっきりするるので

説得力があります。

ワークシートにそって話すことを決めていくと

自分も頭の中が整理されるし

聞く人にもとても聞きやすくなると思いました。

第6回 討論・ディベートクラブ講座

討論・ディベートクラブ 第6回目の講座が、
10月16日(土)に開かれました。

今回の講座では

「リサーチ」ということを学びました。

ディベートでは意見に説得力を持たせるために

証拠資料を使って発言をします。

その資料を集めることを「リサーチ」というそうです。

まず、調べてみたいことをみんなで意見を出し合いましたが
あまり出てきませんでした。



ちょっとわかりにくかったかな。

次にインターネットを使ってリサーチしてみました

インターネットをうまく使うことが難しかったため
また次の課題に・・・ということになりました。



気分を変えて
ミニディベートをしました。

先回の講座で学んだように
2チームに分かれて役割パートを決めてのディベートです。

論題は
「給食のメニューを統一するのなら和食がいいか、洋食がいいか」



この論題なら
証拠資料が無くても体験をもとに意見が出せるので
けっこう盛り上がりました。



ディベートはカードゲームに似ているらしい・・・。

みんなはどう感じているかな。

参考資料: 全国教室ディベート連盟HPより

第5回 討論・ディベートクラブ講座

討論・ディベートクラブ 第5回目の講座が、9月18日(土)に開かれました。



8月の講座がお休みだったこともあり先生やクラブのみんなとは久しぶりです。

そこで、まずはウォーミングアップ。

相手の夏休みの思い出について2分間のインタビューをします。

聞いたことを30秒でみんなに話しました。



楽しくウォーミングアップができたと思います。

次に

ミニディベート「形のなかで○がいいか△がいいか」



話すフォーマットを決めて簡単なディベートをしてみました。

その中で

- ・引用して話すこと
- ・理由をつけて話すこと

の2点を学びました。



今年のディベート甲子園の論題である
「日本はペットの売買を禁止するべきである」について
肯定側と反対側のチームを作り



役割パートを決めて

- ・肯定側 意見
- ・反対側 質問
- ・反対側 意見
- ・肯定側 質問
- ・反対側 反論
- ・肯定側 反論

それぞれのチームで各パート1分間のディベートをしました。



今回初めて大会に習ったやり方でのディベートでしたが



緊張感やチームの協力なども見られて



ちょっとかっこよかったです。

第4回 討論・ディベートクラブ講座

討論・ディベートクラブ 第4回目の講座が、
7月24日(土)に開かれました。

第15回ディベート甲子園中学の部の論題は

「日本はペットの売り買いを禁止するべきである。」

でした。



当講座でもテーマに取り上げてディベートを学んでいます。

まずはこのテーマについて具体的な意見を持つために
いろんな現状を知ることから始めました。

前半では

長谷部先生が用意してくれた
「犬と猫と人間」というDVDを視聴しました。



日本のペットをめぐる状況や捨てられているペットたちの実際について
また、それらに関わる様々な人たちの記録映画でした。

後半では

未来塾の近所にあるペットショップを見学に行きました。



どんな動物が売られているのか。



値段はどれくらいなのか。
どうやって値段を付けるのか。



どんな様子で売られているのか。
いろんな視点で見学することができたでしょうか。

また、
帰り道でこんなチラシを見つけました。



今回の講座で感じ、考えたことが
今後の立論作りの参考になっていくと思います。

7月19日(月)海の日に

「中学生ディベート大会決勝見学ツアー」を企画しました。



日本では毎年夏に「ディベート甲子園」という

中高生向けのディベートの全国大会が開催されます。



東海地区の代表を決める決勝大会が

NHK名古屋放送センター1Fで行われるということで

ディベートクラブのみんなと見学に行ってきました。



決勝進出校のディベートは

どちらもとてもすばらしく、聞いていても圧倒されるばかり。



ただ、専門用語も多く

選手たちの話し方はとても早かったので

聞き取りにくい箇所がありました。

途中で講師の長谷部先生の解説を聞きながら



最後まで興味深く
聞くことができました。

聞き終えた後の感想としては

「難しかった」
「言ってることが良くわからなかった」
など。



参加してくれた塾生のみんなは
ほとんどの人が小学生だったので

ちょっと難しかったかもしれません。

ディベートクラブのみんなが中学生になったら
こんな大会に出れるようなディベートができるようになるといいなあ。

・・・と夢見る担当者でした。

第2回 討論・ディベートクラブ講座

討論・ディベートクラブ 第2回目の講座が、
6月19日(土)に開かれました。



(1) まずは、聞く・話すことのウォーミングアップである
インタビューです。

2人一組になり、前回から今日まででうれしかったこと
をテーマに聞き合うことをした。

ここでは1分という時間内に
テーマを絞って相手から情報を聞くことをねらいにしているそうです。

また、違う学校の者同士が情報交換し合う中で
少しでも仲良くなれるように
エンカウンター的な要素も入れてみた。

※ エンカウンターとは・・・
ホンネを表現し合い、それを互いに認め合う体験という定義があるそうです。

(2) ミニディベート

テーマを「黒板かホワイトボードか」とし
黒板派とホワイトボード派でディベートゲームを行いました。

オール1分間で時間を計り行いました。



また、
立場を交代し、両方の立場を経験することで
前回相手から言われたことを
次のゲームで生かすこともねらいだそうです。

ディベートは自分の考えではなくて

「立場を説明するゲームである」ということが身につくトレーニングであると
考えられています。

(3) 「日本はペットの売り買いを禁止するべきである。」 これは、第15回ディベート甲子園中学の部 論題です。

当講座でもテーマに取り上げてトライしてみようということです。。

まずはこのテーマをリンクマップという考え方(思考を広げる)で
起こりうるいいこと(メリット)と悪いこと(デメリット)に分けて
考えていきました。



塾生のみんなの体験から出てくる
様々なペットにまつわる話題をまとめていきました。

この続きは次回講座で・・・



ディベートで一番大切なのは
どうしてそのように考えたのかという
根拠と道筋である。 by長谷部

第1回 討論・ディベート講座

討論・ディベートクラブの第1回目の講座が、
5月15日(土)に開かれました。

講師はディベートトレーナーとして活躍中の
おでん先生こと 長谷部浩一先生です。



それでは
講座の様子を紹介します。

(1) インタビューゲーム

二人で役割を変えてインタビューする中で
「聞く」力・「話す」力をつけました。

今回は初めての顔合わせということで自己紹介も兼ねて
相手のことを聞き、自分のことを話しました。

聞くときはメモを取り、後で相手に質問をするときに使います。



また、
話し方のルールとして「・・・です」「・・・ます」などの
パブリックスピーキングを使って話すということを知りました。

そのほかにも
決めた時間内に話すという決まりがあるそうです。



(2) AかBか・・・

ふたつの対立するものを出し合い、ミニディベートの論題作りを行いました。

アンパンマンかバイキンマンか・・・

ごはんかパンか・・・

イヌかネコか・・・などいろんな意見が出てきました。



(3) ミニディベートゲーム

チームを作り、

飼うのなら「イヌがいいか、ネコがいいか」を論題にして
ディベートゲームを行いました。

1.イヌがいい理由

2.イヌ派に質問

3.ネコがいい理由

4.ネコ派に質問

5.ネコ派→イヌ派に反論

6.イヌ派→ネコ派に反論

イヌ派、ネコ派を入れ替えて

1.から6.までの手順で2試合行いました。



(4) モデルゲーム

最後に長谷部先生・毛受氏が

ディベートのモデル試合をしてくださいました。

時間もびったり、とてもリズムの良い試合でした。

ディベートってなんだろう？

でも今日の講座に参加して少しだけわかりました。

【みんなの感想】

- ・なかなか思ってることがいえない、真っ白になる。練習すればけっこうできるかも。
- ・反ろんということを初めて知りました。
- ・もう少し反ろんをうまく分かってもらえるように話していきたいです。
- ・すごくむずかしかったです。とくに反ろんはむずかしい。

年間スケジュールについて

平成22年度 討論・ディベートクラブ年間スケジュール (pdf. 104KB)

 [RSS FEED](#)  [記事一覧](#)  [サイトの最初のページへ](#)  [ページの先頭へ](#)

Copyright(C) 2008 たかはま夢・未来塾 Allrights reserved.